

千葉大学医学部附属病院  
病院長

大鳥精司



千葉市長

神谷俊一



千葉大学  
医学研究院長・医学部長

三木隆司



Future Medical Symposium

# 日本の未来医療を 担う若者へ

入場無料

## 開催概要

2024年

10月5日(土)

千葉大学西千葉キャンパス けやき会館

**対象** 千葉県内在住（所在地）通学の高校生と  
その保護者対象（保護者のみでも可）

開場 14:30 | 開演 15:00 | 終了 17:40

第1部 (15:00～16:00) 医学部長から高校生へのメッセージ

第2部 (16:10～17:00) 学生の語り-医薬看護学部で学ぶこと-

第3部 (17:10～17:40) 個別相談会

パネラーとの個別相談会

(市長・医学部長・病院長との懇談会は事前申込制です)

## お申し込み

受付開始日

9月7日(土) 15:00

定員

300名

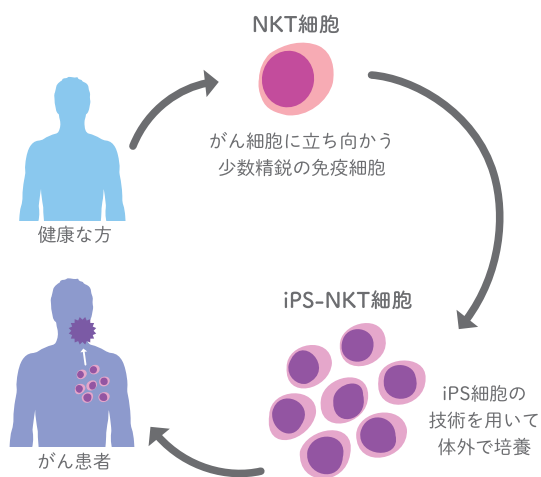
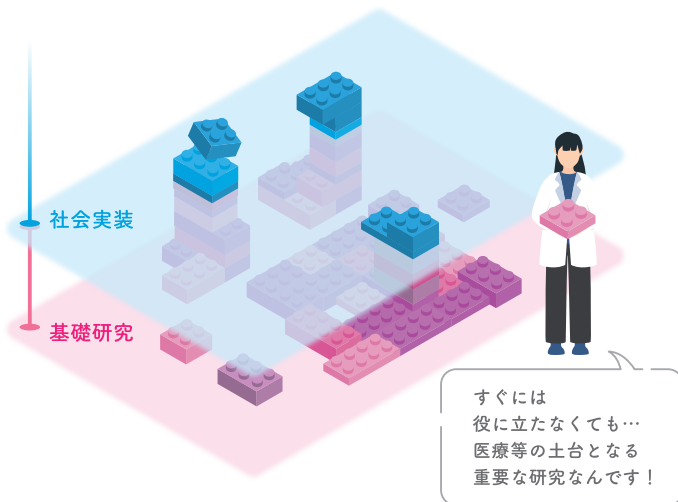


QRコードよりアクセスの上、  
LINE公式アカウントよりお申し込みください

# 皆様からの寄付で支えられている研究活動

## 研究費支援の届きにくい、 若手医学研究者への支援を

千葉大みらい医療基金では、若手研究者への支援を積極的に行っております。特に日本においては、基礎研究に従事する若手研究者への支援が乏しいのが現状です。多くの国民に有用となる素晴らしい研究を進めるため、当基金は若手研究者を中心に厳しい審査を行い、皆様のご寄附による支援を行っております。



## 世界を牽引する最先端のがん治療 iPS-NKT細胞による免疫療法の確立

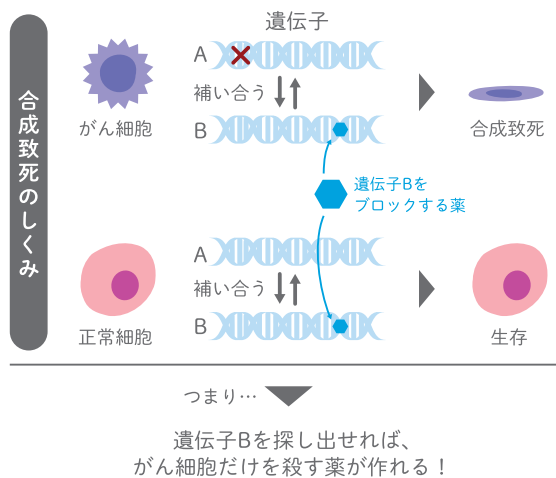
千葉大学で発見されたNKT細胞はがんに対して強い攻撃力を持っていますが、人の血液中にはわずかしか存在せず、治療法の実用化には、数多くのハードルが存在していました。しかし、iPS細胞の力で増殖させたiPS-NKT細胞は、がんに対する高い抗腫瘍効果を備えたまま細胞を大量に増殖させることが可能です。世界初の「iPS-NKT細胞」を人の血管内に直接投与する研究を実施しています。

## ゲノム編集に基づく

## 全ての癌に共通する合成致死遺伝子探索

ある遺伝子Aが変異した癌細胞に対して、遺伝子Bを阻害することで細胞死が引き起こされる現象を「合成致死」と呼びます。一般に抗がん剤治療は正常な細胞へのダメージも大きいため副作用も強かったのですが、合成致死遺伝子を標的とした治療は、正常細胞への副作用が少なく、新しい治療として脚光を浴びています。

私たちはCRISPR（クリスパー）スクリーニングという技術で、合成致死に至る遺伝子を探し出し、遺伝子の増殖を防ぐ技術を開発しています。



つまり...

遺伝子Bを探し出せれば、  
がん細胞だけを殺す薬が作れる！

## ご寄付の特典

- 一定額以上のご寄付に対して、刊行物の送付や記念品の贈呈等、種々の特典を用意しております。
- ご寄付いただいた金額は累計されていきます。
- 税法上の優遇措置がございます。

千葉大みらい医療基金HP  
ご寄付の特典



## ご寄付の方法

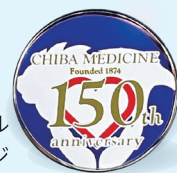
- 払込取扱票**  
本パンフレットに付属の払込取扱票に必要事項をご記入のうえ、金融機関、または郵便局にてお手続きをお願いいたします。
- パソコン・スマートフォンから**  
千葉大学基金決済ページよりお手続きをお願いいたします。

決済ページ



**マンスリーサポーターのご案内**  
クレジットカードで毎月定額を自動決済する寄付制度です。月1,000円からの寄付が可能です。月3,000円以上のご支援で、特典として千葉大医学部オリジナルピンバッジを贈呈しております。

オリジナル  
ピンバッジ



千葉大学大学院医学研究院・医学部  
**千葉大みらい医療基金**  
Chiba University Futuristic Medical Fund

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

☎ 043-226-2286

✉ chiba-med-funds@chiba-u.jp

